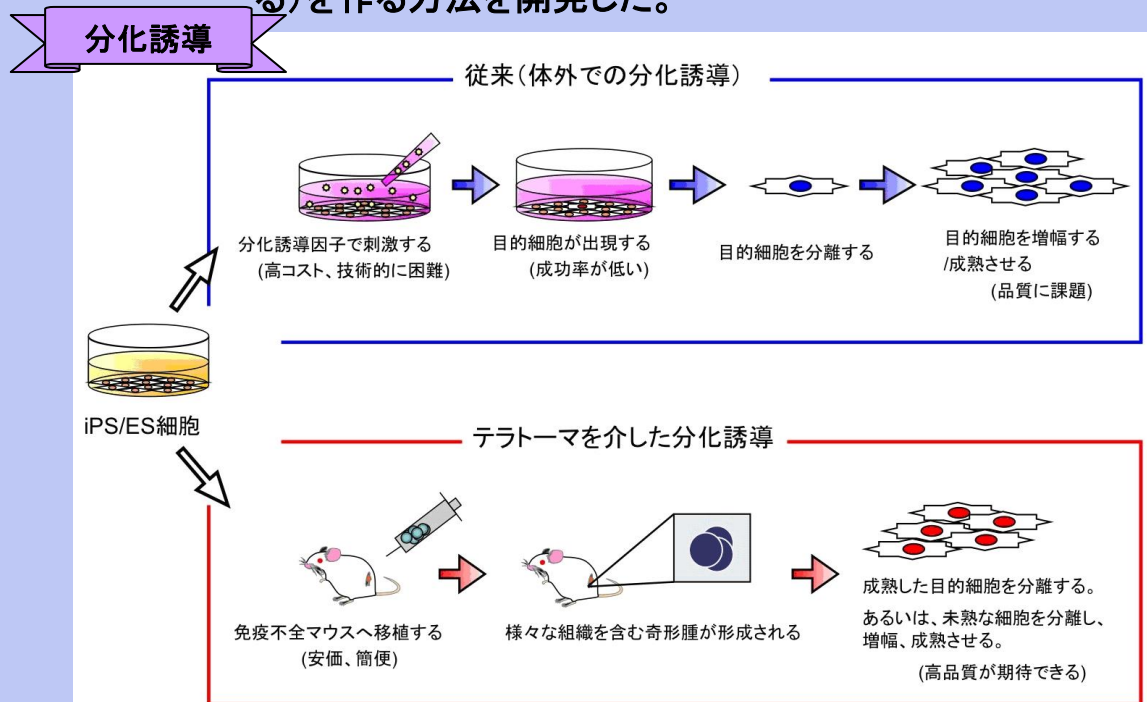


## 免疫不全動物を用いた細胞の製法

キーワード iPS細胞・間葉系幹細胞・免疫不全マウス

**研究内容の概要**： マウスおよびヒト iPS 細胞を免疫不全マウスに移植し、マウスの体内でテラトーマ(奇形種)として分化させた後に目的の細胞のみを取り出すことで、分化誘導因子を一切必要とせず、効率よく間葉系幹細胞(骨や軟骨、筋肉になることができる)を作る方法を開発した。



**特長/効果**

- 癌化する危険性が低い間葉系幹細胞を効率よく生産することが可能
- この製法による間葉系幹細胞は骨髄などに存在しているものと同じ遺伝子を発現
- 特別な分化誘導因子を一切必要としない製法

**利用/用途**

- 再生医療の材料としての利用
- 患者に合わせた薬剤の開発(オーダーメイド創薬)や新しい薬の選択方法としての利用
- 患者の負担が少ない再生医療の手段

<b>知的財産権等情報</b>		医学部 高度先端総合医療センター再生医療部	福田 寛二、寺村 岳士
特許出願	特開 2012-120486	URL: <a href="http://www.med.kindai.ac.jp/index.html">http://www.med.kindai.ac.jp/index.html</a>	
論文等	編		

連絡先: 近畿大学 リエゾンセンター(KLC)  
 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1 E-mail: [klc@kindai.ac.jp](mailto:klc@kindai.ac.jp)  
 TEL:06-4307-3099 FAX:06-6721-2356 URL: <http://www.kindai.ac.jp/liaison>